

鋼材輸送トレーラーに当社低 CO₂鋼材「ほぼゼロ」が初採用

このたび当社低 CO₂鋼材「ほぼゼロ」が、鋼材輸送トレーラーに初採用されました。採用された鋼材輸送トレーラーは、東鉄運輸株式会社（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：竹内 良彦）が所有・運用するもので、日本トレクス株式会社（本社：愛知県豊川市、代表取締役社長：山本 英城）にて製造されました。

東鉄運輸株式会社は、当社の重要な物流パートナーであり、関東一円を中心に、当社が生産する H 形鋼・ホットコイル・厚板等の輸送を担っています。今回、東鉄運輸株式会社が鋼材輸送トレーラーを新規導入するにあたり、当社から低 CO₂鋼材「ほぼゼロ」の使用を提案したところ、荷台のフロントレール周辺部材への採用が決まりました。完成した鋼材輸送トレーラーは、2026年6月に運用が開始されています。

当社は、長期環境ビジョン「Tokyo Steel EcoVision 2050」のもと、今後も顧客企業との協働を推進し、わが国の脱炭素・循環型社会の実現に貢献してまいります。



当社低 CO₂鋼材「ほぼゼロ」が採用された鋼材輸送トレーラー外観

・お問い合わせ先：<https://www.tokyosteel.co.jp/contact/>